

菰樽がもつ意匠性と趣きを残しつつ、新しく構成された1.8Lサイズの清酒容器

「packa酒」を新発売

製造困難に陥る伝統を、量産に適したニュースタイルで商品化

【packa酒について】

小泉製麻株式会社（本社：神戸市灘区 代表取締役社長 小泉康史、以下 小泉製麻）は、製造困難に陥った1.8Lサイズの小型菰樽（*1）を新しいスタイルで商品化しました。

1.8Lサイズの小型菰樽は木樽ではなく、ガラス瓶とプラスチック製プロテクター（*2）から作られていますが、小泉製麻は、内容器を当社品のスパウトバッグ（軟包材パウチ）と段ボールケースに置き換えました。

従来型の小型菰樽よりも、実用的かつ環境負荷を軽減したpacka酒は、当社品のスパウトバッグ（パウチ型容器）を使用することで、プラスチック使用量は約33%削減、容器は約80%軽量化を実現しました。折りたたみ可能な内袋・外装ケースは輸送時のCO₂排出量の削減につながります。加えて、容器の分解・分別が容易になり、廃棄物処理にかかる環境負荷も軽減します。

また、従来品の小型菰樽（ガラス瓶とプロテクター）では、できなかった「鏡開き」の趣きを楽しめ、意匠の自由度が高く、新様式の伝統を提供することが可能となりました。

採用したスパウトバッグはガスバリア性が高く、酸化による内容物の品質劣化を抑制します。

ガラス瓶と比べ軽く、割れないため、日本の伝統を楽しく体験できる本商品は、清酒の輸出拡大にも貢献できると考えています。

また、外装箱は微細な表現ができるため、意匠の自由度が高く、現代のインテリアに馴染むデザインにも、キャラクターとのタイアップ品も可能で、従来よりも幅広い展開を創出できます。

（*1）菰樽とは、結婚披露宴や祝賀会等のイベントで、酒樽の蓋を開く「鏡開き」をして参加者へお酒をふるまう液体容器。

（*2）プロテクターとは、ガラス瓶と菰の間にいったプロテクター緩衝材



【開発の背景】

1.8Lサイズの小型菰樽は、材料となるガラス瓶とプラスチック製のプロテクター生産や、菰を巻く作業者の減少もあり、「段ボールを代用とした違った容器で小型菰樽を作ってみよう！」という声が上がり商品化に向けて始動しました。

職人伝統を新しいカタチへ、そして量産に適しながらも環境適応性が高い、菰樽型の液体容器ケースの開発に着手しました。

Packa酒用ケースの意匠性と強度のバランスには、とても苦労しました。意匠にばかり気を取られると強度が弱く実用性に欠け、強度を取ると意匠性が損なわれます。また、鏡開きの楽しさを残しつつ設計に落とし込むことが難題でした。

【今後の動向】

「packa酒」は清酒用であるため、今後は焼酎やワイン、ジュース等にも合うカタチを開いていきたいと考えています。



packa 酒 使用動画

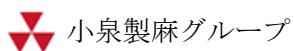


【価 格】 オープン価格

【担当部署】 小泉製麻株式会社 B I B 営業部 (078)841-9342

■会社概要

社 名	： 小泉製麻株式会社
代表者	： 代表取締役社長 小泉 康史
所在地	： 〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号
創 業	： 1890年(明治23年)6月
事業内容	： 産業用纖維製品・綠化土木資材・農業資材などの製造販売・開発
URL	： https://www.koizumiseima.co.jp



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社小泉ビジネスソリューション 広報担当者： 篠原 麻裕子

TEL : 078-841-4142 FAX : 078-841-4145 HP アドレス : <https://koizumi-bs.co.jp>

e-mail: shinohara@koizumi-jm.jp